

平成 28 年度 第 3 回夕張市地域公共交通協議会 議事概要

日 時：平成 29 年 1 月 30 日（月） 13：30～14：15

場 所：夕張市市民研修センター 2 階 大会議室

資 料：別紙のとおり

1 開会

2 挨拶

会長より挨拶

3 報告事項

(1) 分科会等の開催経過について（資料 1）

質疑なし。

(2) デマンド交通実証実験結果について（資料 2）

会 長：同じ方が利用しているのか？

事務局：ほとんどが同じ方の利用。行き帰りでの利用が多くみられるようである。

4 協議事項

(1) 平成 29 年度事業計画（案）について（資料 3）

質疑・異議なし。提案どおり決定。

(2) 平成 29 年度収支予算（案）について（資料 4）

質疑・異議なし。提案どおり決定。

(3) 南部地域のデマンド交通本格運行（案）について（資料 5～5-2）

質疑・異議なし。提案どおり決定。

(4) 夕鉄バスの滝の上線の廃止申し入れについて（資料 6～6-2）

夕鉄バス：今回の路線廃止提案は、定年退職者・自己都合退職者の増加による運転手不足に伴うダイヤ減便によるものである。このダイヤ減便は、改正を通じて一日あたり必要となる運転者数をいかに減ずることができるか、ということを最大の課題としている。

今月に自己都合退職者 1 名、来年度には定年退職者 2 名が発生することから、現行体制の運行体制も維持困難となる。そこで、通常 6 か月前の決議が必要となることから、申請においては廃止予定日を平成 29 年 7 月 1 日としているが、本協議会での決議を得ることで廃止期日を 1 か月前とすることができることから、本協議会の決議をもって廃止日を平成 29 年 4 月 1 日とし、代替交通の確保について議論を行っていただきたい。

（詳細は資料 6 別紙を参照）

事 務 局：当路線を利用している通学生の足を確保するべく、市内の交通事業者・タクシー事業者や福祉輸送を担う事業者等と代替となる通学移送手段の確保について

打診・協議・調整を行った結果、代替となるスクールバスの運行は可能と判断した。また、通学生以外の利用については、現状ほぼ皆無という状況にはあるが、当該路線の廃止により、交通空白地帯が発生するため、デマンド交通等の小規模輸送の導入検討を進める形で地域とも調整・確認を行ったところであり、これをもって当該路線における代替手段の確保は可能であると考えているもの。

質疑・異議なし。提案どおり決定。

5 その他

(1) 北海道で主催する鉄道ネットワーキングチーム会議の開催結果について

空知振興局：昨年11月18日にJR北海道より発表のあった「単独では維持困難な線区」に係り、道内鉄道網の在り方や課題・対応策について集中的な議論を行うため結成された。これまで3回の会議が開催されており、本日午前中にその最終回である3回目が実施されたところ。これまで開催された3回のワーキングの中では、北海道において鉄道が果たしている役割を「中核都市とを繋ぐ路線」「広域観光ルート」「国境周辺地域や北方領土隣接地域の路線」「広域物流ルート」「地域生活路線」「札幌市を中心とする都市圏の路線」という6つの論点に整理し、将来を見据えた北海道の鉄道網の在り方について議論している。

これまでに出了た主な意見としては、「国に求める内容を明確にするべき」「経営安定基金の運用歴や、JR貨物の路線使用料は避けられるない課題である」「鉄道網の維持に関して、線区や地域の実情に応じた様々な方策がある」「鉄道の必要性について、地域でしっかりと議論することが重要」といったものが出ている。

本日開催したワーキングにおいて、これまで出された意見等をもとに、最終的な考え方を整理した報告書を取りまとめ、2月中旬に開催する「地域公共交通検討会議」において、知事に報告する予定である。

質疑・応答なし。

6 閉会

以上